

～小規模豚飼養者の皆様へ～

家畜伝染病（豚熱・アフリカ豚熱・口蹄疫）から  
飼養している豚を守りましょう！！

- ・国内26年ぶりの豚熱の発生から3年経過し、今年も8県で14事例発生しています。
- ・海外の近隣諸国では口蹄疫、アフリカ豚熱などの家畜伝染病の発生が続いており、警戒が必要です。

※豚熱(CSF)、アフリカ豚熱(ASF)、口蹄疫(FMD)の詳しい説明は裏面参照

飼養衛生管理基準を遵守し、  
あなたの大切な豚を守りましょう！

あなたの豚を病気から守る  
重要なポイントです！

- 豚に触れる際には手指消毒をしましょう！
- 清潔な衣類で触れ合いましょう！
- 飼養場所（部屋）は清潔に保ちましょう！
- 室外に出さないようにしましょう！



## ○豚熱（Classical swine fever）とは！

- CSFウイルスにより起こる豚、いのししの熱性伝染病で、強い伝染力と高い致死率が特徴です。
- 感染豚は唾液、涙、糞尿中にウイルスを排泄し、感染豚や汚染物品等との接触等により感染が拡大します。
- 治療法は無く、発生した場合の家畜業界への影響が甚大であることから、家畜伝染病予防法の中で家畜伝染病に指定されています。
- なお、アフリカ豚熱（ASF）とは、全く別の病気です。

## ○アフリカ豚熱（African Swine Fever）とは！

- ASFウイルスが豚やいのししに感染する病気です。人に感染することはありません。
- 感染すると全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病です。
- ダニによる媒介、感染畜等との直接的な接触により感染が拡大します。
- 有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大です。
- なお、豚熱（CSF）とは、全く別の病気です。

## ○口蹄疫（foot-and-mouth disease）とは！

- 口蹄疫ウイルスが原因で、偶蹄類の家畜（牛、豚、山羊、綿羊、水牛など）や野生動物（ラクダやシカなど）がかかる病気です。
- 口蹄疫に感染すると、発熱したり、口の中や蹄の付け根などに水ぶくれができたりするなどの症状がみられます。
- 口蹄疫にかかると、子牛や子豚では死亡することもあります。成長した家畜では死亡率が数%程度といわれています。
- 偶蹄類動物に対するウイルスの伝播力が非常に強いので、他の偶蹄類動物へうつさないようにするための措置が必要です。

農林水産省HPより参照

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/>

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/k\\_fmd/syh\\_siritai.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/syh_siritai.html)